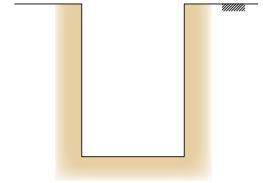


## 施 工 手 順

1

掘削工

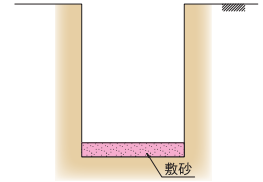
- ①掘削は小型掘削機械により行い、崩壊性の地山の場合は土留工を施します。
- ②掘削機械のバケットのつめ等で掘削の仕上がり面を押し潰した場合はショベルや金ブラシ等で表面を剥ぎ落とし、土砂は排除します。
- ③掘削底面は浸透能力を保持する為、極力足で踏み固めない様に注意します。



2

敷砂工

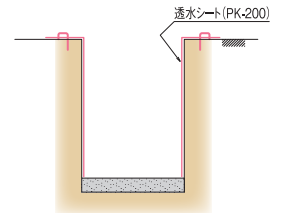
- ①敷砂は足で軽く固める程度とし、機械での転圧は行わないで下さい。



3

透水シート  
布設工

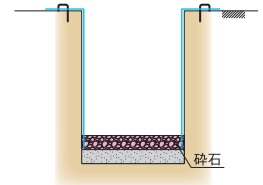
- ①透水シート(PK-200)は土砂の碎石内への流入と地面の陥没を防ぐ為、柵と碎石を巻込む様に布設します。
- ②透水シート(PK-200)は掘削面よりやや大きめの物を使用し、シートの継ぎ目から土砂が侵入しない様に重ねしろを考慮して下さい。
- ③作業をしやすくする為、透水シート(PK-200)の端部をピン等で固定します。



4

碎石充填工(1)

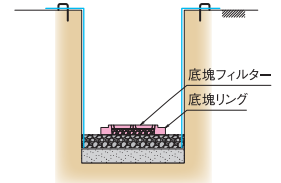
- ①透水シート(PK-200)を引き込まない様に注意しながら碎石を投入して下さい。
- ②碎石の転圧は沈下防止の為にありますが、碎石部分の浸透能力や貯留量に影響する為、転圧のしすぎには十分配慮して下さい。



5

底塊リング  
据付工

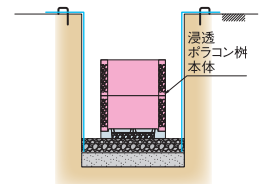
- ①碎石上に底塊リングをレベル調整しながら据え付けます。
- ②必要に応じて底塊リング内に底塊フィルターをセットして下さい。



6

本体据付工

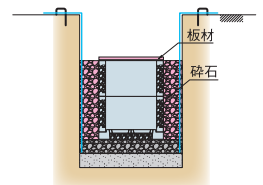
- ①底塊リング上に浸透パラコン柵本体を据え付けます。
- ②1段ごとにレベル調整して下さい。  
(EMBX-300、EMシリーズは一体型なので②の手順は除きます)



7

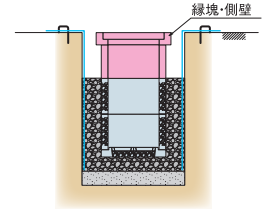
碎石充填工(2)

- ①碎石投入時に、碎石が浸透パラコン柵内に入らない様に板材などで養生して下さい。
- ②透水シート(PK-200)を引き込まない様に注意しながら碎石を投入して下さい。
- ③碎石の転圧は沈下防止の為にありますが、碎石部分の浸透能力や貯留量に影響する為、転圧のしすぎには十分配慮して下さい。



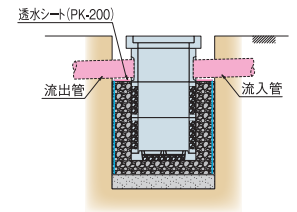
**8**  
縁塊・側壁  
据付工

- ①本体に縁塊・側壁を据付けます。
- ②碎石の投入は投入時に透水シート(PK-200)を引き込まない様に注意します。
- ③碎石の転圧は沈下防止の為にやりますが、碎石部分の浸透能力や貯留量に影響する為、転圧のしすぎには十分配慮して下さい。  
(EMBX-300、EMシリーズは一体型なので蓋枠・側壁据付工の手順は除きます。)



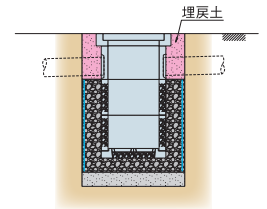
**9**  
透水シート工

- ①碎石層を包み込む様に碎石層上に透水シート(PK-200)を被せます。
- ②必要に応じて流入管・流出管をできるだけ浅い位置に取り付けます。



**10**  
埋戻し工

- ①埋戻し土は転圧機で十分に締め固めます。
- ②碎石のかみ合わせ等による初期沈下が発生する可能性がある為、埋戻し後1~2日は注意して下さい。



**11 施工完了** お気づきの点がございましたら、お気軽に当社までご連絡下さい。(HPのお問合せ先にてお受けしております。)

**施工上の注意** 浸透ポラコン樹への接続管の位置について

